

日本フィルハーモニー交響楽団

日本フィルを創り、日本とフィンランドを音楽で結んだ
オーケストラ界のパイオニア

渡邊 暁雄 生誕100周年 記念演奏会

2019年6月22日(土)

14:00開演 [13:20開場]

サントリーホール

14:00, Saturday, June 22nd, 2019 at Suntory Hall

シベリウス： 交響詩《フィンランディア》* op.26

Jean SIBELIUS: Tone Poem "Finlandia" op.26

ガーシュウィン： ピアノ協奏曲 へ調

第1楽章：独奏 寺田悦子 / 第2楽章：独奏 渡邊規久雄 / 第3楽章：独奏 渡邊康雄

George GERSHWIN: Concerto for Piano and Orchestra in F
1st movement: TERADA Etsuko / 2nd movement: WATANABE Kikuo /
3rd movement: WATANABE Yasuo

小山清茂： 管弦楽のための木挽歌

KOYAMA Kiyoshige: "Kobiki-uta" for Orchestra

マーラー： 交響曲第5番 嬰ハ短調より 第4楽章《アダージェット》

Gustav MAHLER: Symphony No.5 in e-sharp minor,
4th movement "adagietto"

シベリウス： 交響曲第5番 変ホ長調 op.82

Jean SIBELIUS: Symphony No.5 in E-flat major, op.82

料金(税込) 2019年3月7日(木)発売

S席8,000円 A席6,500円 B席6,000円 C席5,000円
P席合唱団 Ys席(25歳以下)1,500円 Gs席(65歳以上)5,000円

*Ys席、Gs席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。*未就学児の入場はご遠慮ください。
*出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。
*車いすの方及び障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。
*車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後、ご購入席番を
日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

託児サービス(事前申込制・有料) イベント託児*マザーズ TEL:0120-788-222(平日10時~17時)

【主催】公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

【後援】フィンランド大使館

提供：日本フィルハーモニー交響楽団

<指揮>
藤岡幸夫

Conductor: FUJIOKA Sachio
©Shin Yamagishi

<ピアノ>
渡邊康雄

Piano: WATANABE Yasuo

<ピアノ>
渡邊規久雄

Piano: WATANABE Kikuo

<ピアノ>
寺田悦子

Piano: TERADA Etsuko
©Akira Muto

<合唱>
日本フィルハーモニー
協会合唱団*

Chorus: Japan Philharmonic
Association Choir

お申込み 日本フィル・サービスセンター TEL(03)5378-5911 [平日10時~17時] FAX(03)5378-6161(24時間)
お問合せ 日本フィルeチケット♪ [席を選んでお申込みできます] www.japanphil.or.jp

チケットぴあ(0570)02-9999 http://pia.jp/t/japanphil Pコード:141-035 e+【イープラス】http://eplus.jp/
ローソンチケット(0570)000-407(オペレーター) http://l-tike.com Lコード:33452 サントリーホールチケットセンター(0570)55-0017

日本フィルの創立指揮者であり、我が国のオーケストラ文化に多大なる貢献を果たした渡邊暁雄(1919-1990)が今年生誕100周年を迎えます。6月22日は彼の命日であり、また日本フィルの創立記念日でもあります。この特別な日を最後の愛弟子藤岡幸夫の指揮、渡邊ファミリーのピアノ、そして日本フィルハーモニー協会合唱団の力強いコーラスを通じてお楽しみいただきます。日本フィルの社歌ともいえる「フィンランディア」、第1回定期演奏会(1957年)で演奏されたガーシュウインのピアノ協奏曲、渡邊がその音楽の普及に尽力したシベリウス、マーラー、邦人作品…。これらの作品を通じて「アケ先生」の偉大な功績を振り返り、皆様と共に在りし日の姿を偲びたいと思います。



提供:日本フィルハーモニー交響楽団

渡邊暁雄 [日本フィル創立指揮者] WATANABE Akeo, founding conductor

1956年日本フィルの創設(6月22日)に参画。1968年まで音楽監督兼常任指揮者、常務理事を務める。それまで日本音楽界の中心だったドイツ・オーストリア系音楽の枠にとらわれない幅広いレパートリーや斬新な演奏スタイル、日本フィル・シリーズ(邦人作曲家への作品委嘱と初演)の創設など、当時の音楽界に大きなセンセーションを巻き起こした。1964年には日本フィルを率いて31都市34回にわたる北米公演を行ない、成功を収める。1969年、スイスに移住、欧州各地で

客演活動を行う。1978年、日本フィルに復帰、以来6年間「シベリウス交響曲全集」の録音など精力的に活動。1984年4月、日本フィル創立指揮者の称号が贈られる。1985年、小林研一郎とともに日本フィルを率いて9ヶ国51日間に及ぶヨーロッパ公演を実現、成功に導いた。1987年11月、日本フィル全楽団員の強い願いにより再び日本フィル音楽監督に復帰。1989年6月、日本フィルによって古稀を祝うパースディ・コンサートが開催される。1990年6月22日逝去。

藤岡幸夫 [指揮] FUJIOKA Sachio, conductor



英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、多くの海外オーケストラに客演。2017年はアイルランド国立響にマーラー第5交響曲で客演、聴衆総立ちの大成功を収めた。マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在首席指揮者を務める関西フィルとは毎年40公演以上を共演し、今年20年目のシーズンを迎えた。テレビ、ラジオへの出演も多く、中でも番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜23:30-)は5年目のシーズンを迎え、放送も200回を越えた。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。現在、関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者(2019年4月〜)。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

日本フィルハーモニー協会合唱団 [合唱] Japan Philharmonic Association Choir, chorus



合唱活動を通じて、日本フィルハーモニー交響楽団と協同し、市民によるオーケストラ活動を推進することを目的として1973年に創立された。メンバーは様々な年齢や職業の日本フィル協会員によって構成され、故渡邊暁雄氏や小林研一郎氏などの指揮者のもとで数多くの演奏会に出演している。これまでに、ブラームス、フォーレ、ヴェルディなどの「レクイエム」に出演。2017年にモーツァルト「ミサ曲 ハ短調」(下野竜也指揮)、2018年9月には、梅田俊明氏の指揮で13年ぶりにモーツァルト「レクイエム」全曲を演奏して好評を博した。年末の日本フィル第九演奏会には、創団以来毎年出演している。

ホームページアドレスは、<http://jpac.jp/>

渡邊康雄 [ピアノ] WATANABE Yasuo, piano



渡邊暁雄の長男。ジュリアード音楽院出身。満70歳。23歳で東京文化会館にてピアニストデビュー。以後、我が国はもとより世界各国にて協奏曲、室内楽、リサイタルなどで活躍。指揮者としても高い評価を得るなど、演奏活動は多岐にわたる。音大の教授職を2015年に退職以降も、毎年精力的にリサイタルを行い、マスコミなどに絶賛された。本年3月に行なわれた弾き振りによる「ベートーヴェンピアノ協奏曲の世界」(第1番、第5番「皇帝」/ 紀尾井ホール)で破格の大成功を収めた。近年の日本フィルとの共演は2017年12月の定期演奏会。また来月には米国にてリサイタルを開催予定。現在、桐朋学園大学非常勤講師、チャイコフスキー国際オンラインピアノコンクール審査員、東京藝術大学附属高校同窓会会長、北欧音楽祭すわ名誉会長。

渡邊規久雄 [ピアノ] WATANABE Kikuo, piano



1976年のデビュー・リサイタル以降、ソロ・リサイタル、妻・寺田悦子とのデュオ・リサイタル、国内はもとよりサンクトペテルブルグ、モスクワ等でのオーケストラとの共演など、国内外で精力的に演奏活動を行っている渡邊規久雄は、北欧、特にフィンランド音楽に造詣が深く、5回に亘るオール・シベリウス・プログラムによるリサイタルをはじめとするシベリウス・ピアノ音楽の第一人者としての活躍は、2015年12月にフィンランド・シベリウス協会から歴史と伝統ある「シベリウスメダル」を授与されるという栄誉に結実しました。CDにオール・シベリウス・リサイタルのライブCD4枚、佐藤まどかとの「シベリウス:ヴァイオリン作品集I・II」など。

寺田悦子 [ピアノ] TERADA Etsuko, piano



今年デビュー50周年を迎え、渡邊規久雄とのデュオピアノ、ショパン・リサイタルなど精力的にコンサートを展開する寺田悦子は16歳でウィーンに留学。これまで国内はもちろん、「プラハの春」などの国際音楽祭出演、数多くの海外オーケストラとの協演、欧米各国でのソロ・リサイタルやデュオ・リサイタルなど、色彩に富んだ音色と華やかなステージで聴衆を魅了しています。1977年第2回ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第3位金賞、1978年リーズ国際ピアノ・コンクール入賞、日本ショパン協会賞などを受賞。

CDにショパン作品集「ノアン」「ノアンII」、渡邊規久雄との2台ピアノ「春の祭典&ラフマニノフ」(レコード芸術特選)など。オフィシャルホームページ www.etsukoterada.com